

# 14-A-2 シダレザクラ(枝垂桜)の巨木

バラ科サクラ属 *Prunus pendula* cv. *Pendula*

※シダレザクラはエドヒガンの園芸品種。エドヒガンと各部の形質が同じだが、枝が長く枝垂れる。シダレザクラの評価は、幹周を参考に、枝垂れる樹形の優美さ、花付き、立地、歴史等を総合的に判断される。シダレザクラの管理は難しく、そのため巨大なシダレザクラがほとんどない中、福島県の「三春滝桜」が群を抜いて巨大である。これは、長い年月大切に保護管理されてきた歴史がある所以。長野県と福島県東部に分布が集中している。理由は不明である。

## ■主なシダレザクラの巨木位置図



## ■シダレザクラの巨木評価基準

- AA 幹周おおむね7m以上の単幹樹、樹形壮大で、花付き良好なシダレザクラの巨木。
- A 幹周おおむね6~7mの単幹樹、樹形壮大で、花付き良好なシダレザクラの巨木。
- B 幹周おおむね5~6mの単幹樹、同等評価の分岐幹を有し、花付き良好なシダレザクラの巨木。
- C B評価以下のシダレザクラの巨木。

## ■主なシダレザクラの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
AA	三春滝桜 写真 S-001	7.9m	19m	福島県田村郡三春町滝字久保	国
B	坪井の枝垂れ桜 写真 S-002	8.24m(2m で大小 4 分岐)	8m	長野県上高井郡高山村中山字坪井	村
B	中塔阿弥陀堂のシダレザクラ 写真 S-003	株周 7.1m	15m	長野県松本市梓川梓	なし
B	袖の山のシダレザクラ 写真 S-004	5.4m	8.5m	長野県上水内郡飯綱町袖之山	村
B	上石の不動ザクラ 写真 S-005	5.3m	16m	福島県郡山市中田町上石	市
B	貞鱗寺の糸桜 写真 S-006	5.0m	9m	長野県北安曇郡白馬村神城沢渡	県
B	専照寺のシダレザクラ 写真 S-007	4.5m	10m	長野県飯田市伝馬町2丁目	なし
B	紅枝垂地藏ザクラ 写真 S-008	4.2m	21m	福島県郡山市中田町木目沢	市
B	弁天さんのしだれ桜 写真 S-009	4.2m	13m	長野県須坂市豊丘	市
B	瑠璃寺の枝垂桜 写真 S-010	4.1m	13m	長野県下伊那郡高森町大島山	なし
B	黄梅院のシダレザクラ 写真 S-011	5.5m	15m	長野県飯田市江戸町3	市
B	合戦場のしだれ桜 写真 S-012	3.3m 2.8m(2本並立)	17m	福島県二本松市東新殿字大林	市
B	水中のシダレザクラ 写真 S-013	4.0m	20m	長野県上高井郡高山村高井	村
B	増泉寺の天蓋桜 写真 S-014	3.0m	15m	長野県飯田市大瀬木	なし
B	麻績校舎の舞台桜 写真 S-015	4.0m	12m	長野県飯田市座光寺宮前	市
B	又兵衛桜 写真 S-016	3.0m	13m	奈良県宇陀市大宇陀本郷	県
B	泰雲寺のシダレザクラ 写真 S-017	5.25m	15m	兵庫県美方郡新温泉町竹田	県
B	慈雲寺のイトザクラ 写真 S-018	2.5m	14m	山梨県甲州市塩山中荻原	県
B	雪村桜 写真 S-019	5.0m	18m	福島県郡山市西田町大田 雪村庵	なし
B	永泉寺の桜 写真 S-020	4.1m	12.5m	福島県田村市大越町栗出字長根	県
B	般若院のシダレザクラ 写真 S-021	5.0m	10m	茨城県龍ケ崎市根町	県
B	中正寺のしだれ桜 写真 S-022	3.5m	25m	群馬県多野郡上野村	県
B	ひよもの枝垂れ桜 写真 S-023	4.0m	20m	岐阜県恵那市串原中沢	県
C	神田の大糸桜 写真 S-024	7.5m(半壊)	9m	山梨県北杜市小淵沢町松向	県

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
C	南小倉のシダレザクラ 写真 S-025	4.8m	10m	長野県安曇野市三郷南小倉	市
C	阿弥陀寺のシダレザクラ 写真 S-026	4.2m	11m	長野県飯田市丸山町2丁目	市
C	原の閑貞桜 写真 S-027	5.75m(半壊)	6m	長野県上水内郡信濃町平岡黒姫道	県
C	西雲寺のシダレザクラ 写真 S-028	2.5m(最大株)	10m	福井県福井市武周町	市
C	赤和観音のシダレザクラ 写真 S-029	3.0m	15m	長野県上高井郡高山村赤井	村
C	足羽神社のシダレザクラ 写真 S-030	2.3m	12m	福井県福井市足羽1丁目	市
C	中越家のシダレザクラ 写真 S-031	2.0m	10.3m	高知県仁淀川町別枝	町
C	中塩のしだれ桜 写真 S-032	2.5m	10m	長野県上高井郡高山村なかむら	村
C	白兔の枝垂桜 写真 S-033	2.3m	8m	山形県長井市白兔 葉山神社	市
C	福聚寺のしだれ桜 写真 S-034	2.5m	8m	福島県田村郡三春町後免町	なし
C	長興山の枝垂桜 写真 S-035	4.66m	12.7m	神奈川県小田原市入生田	市
C	円山公園のシダレザクラ 写真 S-036	2.8m	12m	京都府京都市東山区円山町	区
C	大野寺のシダレザクラ 写真 S-037	2.0m	8m	奈良県宇陀市室生大野	県
C	浄蓮寺のシダレザクラ 写真 S-038	2.3m	15m	石川県羽咋郡宝達志水町原	町
C	忠七桜 写真 S-039	3.0m	18m	福島県郡山市中田町大字牛縊本郷	なし



写真 S-001 日本一のシダレザクラ <sup>みはるたきざくら</sup> 三春滝桜

日本三大桜の一つに数えられるが、シダレザクラとしては文句無く日本最大である。推定樹齢1000年、幹周9.5m、枝張り東西25m、南北19mという、数字から見てもダントツの一位である。エドヒガンの園芸品種であるシダレザクラは生育管理が難しい桜で、巨木になる前に枯れる場合が多い。ところが三春滝桜は親種であるエドヒガンと比較しても日本最大級の大きさに生長し、現在も滝が流れ落ちるような見事な花を付ける驚異の桜。そのため、人気も別格のものがあ、花のシーズンには高速道路の出口あたりから渋滞するという異常な事態が起る。駐車場から桜までの参道は、まるで東京の繁華街を歩いているような人出であるが、目指す滝桜が出現すると、吾を忘れて見入ってしまう存在感があり、人々を引きつける魅力に納得してしまう。滝桜を見ずして、日本の桜は語れないということであろうか。

この桜をこよなく愛した歴代の三春藩主は、周囲にある畑を無税とし、藩主の御用木に指定、保護した。開花期には毎日早馬を出して花の状態を報告させ、満開になれば藩主が花見に出かけ、堪能したと伝えられる。

滝桜の立地が素晴らしく、掃鉢状になった広大な敷地の西斜面に立つ。360度から、しかも上部からも眺められるというものは全国に例がなく、やはり藩主の御用木であったことが伺える。

何度も通っていると、奇跡が起る。2010年4月22日朝、満開の滝桜に雪が積もった日に偶然樹下に立つことができた(次々写真)。

幹周、樹形、花付き、立地、歴史、保存状態等から、国指定特別天然記念物相応の巨木であると考えられる。



▲史上初、満開の滝桜に雪が積もる。関係者が何度も見上げて、枝が折れないか心配していた。  
2010.4.22 AM10 時頃撮影。



▲北側より、周囲に植えられた菜の花と色彩の競演。

▼東側正面、撮影者用のデッキから見た滝桜全景。





写真 S-002  
坪井の枝垂れ桜

幹は空洞化し、古い幹から発芽した新しい幹によって再び樹冠が形成されつつある。2mで大小4分岐する樹形。坪井の墓地に立つ事から、墓標として植えられたものか。



写真 S-003  
中塔阿弥陀堂のシダレザクラ

阿弥陀堂近くに立ち、根元近くで3分岐する堂々たる樹形であるが、近年樹勢は衰えつつある。  
(写真・石田徹)



写真 S-004  
袖の山のシダレザクラ

道を挟んだ対岸にある安養寺の柳桜とも呼ばれ、地域のシンボリック的存在になっている。



写真 S-005  
上石の不動ザクラ

不動明王を祀ったお堂の傍らに植えられた見事なシダレザクラである。この桜は三春滝桜の孫と伝えられている。

▼写真 S-006 貞麟寺の糸桜



貞麟寺はこの地区の豪族であった沢度兵部盛賢の母祥玉貞麟尼が開山した寺で、この糸桜はその時に植えられたと伝えられ、樹齢450年である。

白馬連峰の雪を戴いた素晴らしい山岳風景に圧倒される白馬村の南部、静かなたづまいの沢度地区に貞麟寺があり、本堂の左手前に糸桜が立つ。かなりの老木で、糸桜の名前が想像させるシダレザクラの印象はすでになくなっていくが、主幹の迫力は素晴らしい。



▲写真 S-007 専照寺のシダレザクラ

まさに天蓋桜である。釈迦象の天蓋になって咲く桜は、唯一のもの。夜にはライトアップされる。



写真 S-008 <sup>べにしだれじぞう</sup> 紅枝垂地蔵ザクラ  
樹下に延命地蔵堂があることから地蔵ザクラの名がある。近年樹勢に衰えが見られる。



写真 S-009 <sup>べんてん</sup> 弁天さんのしだれ桜  
地区の農道を登った墓地の上、弁天池の上に立つシダレザクラ。根元には水神様が祀られ、地元の信仰を今も集めている。周辺の山並にはよく霧がかかり、花の季節に日本情緒溢れる雰囲気醸し出される事もあって、写真愛好家垂涎のシダレザクラとして有名である。



写真 S-010 <sup>るりじ</sup> 瑠璃寺の枝垂桜  
瑠璃寺の境内、広場の片隅に立つ堂々たるシダレザクラである。  
(写真・Web画像)

▼写真 S-012 <sup>かつせんば</sup> 合戦場のシダレザクラ

この地は奥州平定を目指した源義家が、安倍貞任、宗任兄弟と戦った古戦場で、二本の紅枝垂が植えられている。太い方は幹周3.3m、樹高17m、樹齢150年程で、決して巨木ではないが、花の見事さでは定評があり、人気のシダレザクラである。

樹下には広場があり、ロケーションは素晴らしいものがある。



写真 S-011▶ <sup>おうばいん</sup> 黄梅院のシダレザクラ

3mで大小5分岐し、枝は地上1.5mまで垂れ、花は紅梅を思わすように濃い。主幹は一部崩れ、不定根が巨大に垂れる様は圧巻である。新しい幹が元気で、樹形もよい見事なシダレザクラである。



▼写真 S-013 <sup>みずなか</sup> 水中のシダレザクラ

桜の巨木が多い高山村の中でもシンボリックな存在。谷の奥まった棚田近くの高台に立ち、ロケーションが素晴らしい。夜にはライトアップもある。





写真 S-014 <sup>ぞうせんじ てんがいざくら</sup> 増泉寺の天蓋桜

その名の通り、巨大衣笠のようになって四方に枝が垂れる見事な桜。夜にライトアップされる。



写真 S-015 <sup>おみこうしゃ おたいざくら</sup> 麻績校舎の舞台桜

5弁から10弁の花が混じり合う「半八重枝垂紅彼岸桜」として有名。元善光寺近く、麻績校舎前に立つ。



写真 S-016 <sup>またべえざくら</sup> 又兵衛桜

又兵衛とは大阪夏の陣で敗れた武将・後藤又兵衛の事で、逃れ住んだのがこの地であった事から命名された。



写真 S-017 <sup>たいうんじ</sup> 泰雲寺のシダレザクラ

湯村温泉の街中にある寺の境内鐘楼横に立ち、狭い境内を覆うように広がっている見事なシダレザクラである。積雪の多い日本海側には珍しいシダレザクラの巨木として貴重な存在だ。



写真 S-018 <sup>しうんじ</sup> 慈雲寺のイトザクラ

樋口一葉ゆかりの寺として知られる慈雲寺の境内に立つ。狭い境内を独り占めするかのように見事な枝を垂れ、花で覆い尽くされている。



写真 S-019 <sup>せつそんざくら</sup> 雪村桜

雪村が晩年住んでいた事から、雪村庵が復元された。その傍らに立つ見事なシダレザクラ。



写真 S-020 永泉寺の桜

畑に囲まれた永泉寺の本堂左前に立つ。巨大なシダレザクラであったが、枝が切断され、かなり小さくなっている。



写真 S-021 般若院のシダレザクラ

「竜ヶ崎のシダレザクラ」ともいわれ、関東地方最大級。(写真・Web画像)



写真 S-022 中正寺のシダレ桜

1500年頃、当時の住職が比叡山延暦寺から苗木を持帰り、植えられたと伝えられている。(写真・Web画像)



写真 S-023 ひよもの枝垂れ桜

岐阜県と愛知県の県境近くの山間部、標高500mにひよもの枝垂れ桜がある。この桜は三宅家の先祖が墓守桜として植えたといわれ、樹齢は300年ということである。「ひよも」とは三宅家の屋号である。

▼写真 S-026

阿弥陀寺のシダレザクラ

阿弥陀寺境内中央に立つシダレザクラの古木。



写真 S-024 神田の大系桜

かつて根元近くで3分岐し、その合計周が7.5mとされていた。現在は2分岐となり、樹勢も衰えている。雪を戴いた八ヶ岳を背景に、美しく咲く姿に魅了された。



写真 S-025 南小倉のシダレザクラ

南小倉の道路沿い、墓地周辺に何本かのシダレザクラの古木があり、その最大株。



写真 S-027 原の閑貞桜

その昔、旅の僧閑貞がこの地に庵を結んだ際に手植えしたと伝えられている美しいシダレザクラであったが、現在は少し衰えている。



▲写真 S-028 西雲寺のシダレザクラ

越前海岸近くの谷間にある西雲寺境内に植えられている数本のシダレザクラの内の最大株。花の頃、境内は花で埋め尽くされ、花祭りも行われている。



◀写真 S-029

赤和観音のシダレザクラ

山の急斜面にある赤和観音への参詣口に立つシダレザクラ。



▲写真 S-030  
 足羽神社のシダレザクラ  
 ライトアップが美しい。



▲写真 S-031  
 中越家のシダレザクラ



▲写真 S-032  
 中塩のシダレザクラ  
 ライトアップが美しい。



▲写真 S-033 葉山神社境  
 白兔の枝垂桜 内入口に立つ。



▲写真 S-034 福聚寺のしだれ桜  
 寺の背後の山斜面に立ち、  
 花の頃は境内が花で埋め尽くされる花の寺である。



▲写真 S-035  
 長興山の枝垂桜  
 招太寺から遊歩道を登った山の中腹の台地に立つ老木である。



▲写真 S-036  
 円山公園のシダレザクラ

見事なシダレザクラであったが、樹勢が弱っている。



▲写真 S-037  
 大野寺のシダレザクラ  
 境内には何本ものシダレザクラがあり、最大株。



◀写真 S-038  
 浄蓮寺のシダレザクラ

写真 S-039▶  
 忠七桜





## ■主なヤマザクラの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	新田の大山桜 写真 Y-001	M6.47m(1.3m 2010)	20m	福島県いわき市三和町下市萱	市
A	輪王寺の金剛桜 写真 Y-002	5.7m	8m	栃木県日光市山内輪王寺	国
A	松月寺の大桜 写真 Y-003	3.5m(分岐幹)	8m	石川県金沢市寺町5丁目	国
B	松岩寺の山桜 写真 Y-004	M5.6m(1.3m 2010)	20m	茨城県高萩市下君田	市
B	吉高の大桜 写真 Y-005	株周 M6.6m(1.3m 2012)	17m	千葉県印西市吉高	市
B	越代のサクラ 写真 Y-006	7.1m(分岐幹合計)	20m	福島県石川郡殿町大久田字越代	県
B	三原のヤマザクラ 写真 Y-007	M5.64m(1.3m 2015)	12m	兵庫県豊岡市三原	なし
C	北小浦の与六郎桜 写真 Y-008	8.3m(分岐幹合計)	25m	新潟県両津市北小浦	市
C	黒岩の山桜 写真 Y-009	6.8m(半壊)	12m	岡山県真庭市蒜山東茅部字黒岩	県
C	天神ザクラ 写真 T-010	6.86m(分岐幹合計)	10m	徳島県美馬市穴吹町古宮	県
C	山王桜 写真 Y-011	8.05m(2分岐合計)	13m	宮城県登米市迫町北方相ヶ沢	県
B	磯上の山桜 写真 Y-012	M4.85m(1.3m 2008)	17m	栃木県大田原市両郷字磯上	県
B	光厳寺の山桜 写真 Y-013	M5.33m(1.3m 2008)	17.3m	東京都あきるの市戸倉	都
B	小室家のやまざくら 写真 Y-014	5.2m	20m	茨城県常陸太田市大菅町	市
C	黄門桜 写真 Y-015	5.5m	7m	千葉県匝瑳市飯高	市
C	権現山のヤマザクラ 写真 Y-016	5.0m(根元広がり)	18m	茨城県那珂郡東海村村松	村
B	浅井の一本桜 写真 Y-017	4.3m	18m	福岡県久留米市山本町耳納	市
C	大戸の桜 写真 Y-018	4.0m(古株周囲)	10m	茨城県東茨城郡茨城町大戸	国
C	小山のヤマザクラ 写真 Y-019	6.1m(4分岐合計)	15m	栃木県芳賀郡茂木町小山	県
C	金沢の山桜 写真 Y-020	10m(分岐幹合計・半壊)	13m	愛知県豊川市金沢町小山下10	市
C	一心行の大桜 写真 Y-021	6.0m(分岐幹合計)	16m	熊本県阿蘇郡南阿蘇村中松	なし
C	金刀比羅神社の神代桜 写真 Y-022	6.5m(2分岐合計)	20m	長野県長野市鬼無里下新倉	村
C	松沢寺の山桜 写真 Y-023	6.6m(分岐幹合計)	20m	愛知県豊川市御津町金野	市
C	狩宿の下馬桜 写真 Y-024	4.6m(ひこばえ分岐合計)	14m	静岡県富士市狩宿	国

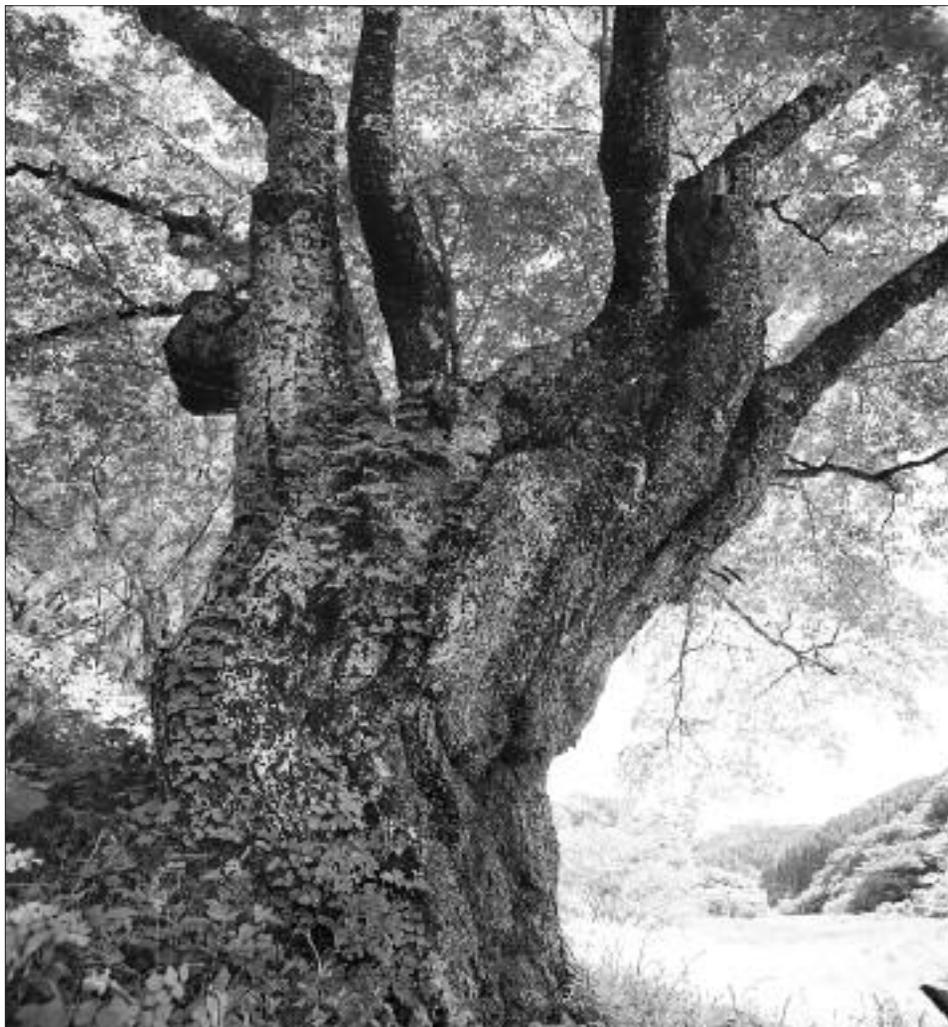


写真 Y-001  
日本一のヤマザクラ

しんでん おおやまざくら  
**新田の大山桜**

巨木DBには300本近く記録がある。その内幹周6m以上のヤマザクラは26本ある。調査すると、ほとんどが分岐幹の合計周で、幹周程の迫力がない。巨木DB調査結果は次の通り。

●オオシマザクラ二本含まれは除外。  
●幹周9m台2本は、全て分岐幹で巨大感はない。

●幹周8m代は5本あり、3本が分岐幹で、単幹樹と記載されている内「与六郎桜」は実際は根元近くで多数に分岐。「黒岩の山桜」は、実測6.8mで、半壊状態。

●幹周7m台は3本あり、単幹樹とされている内「諏訪の山桜」は分岐幹、「松月寺の大桜」は実際は幹周3.5m。「越代の桜」は幹周7.2mだが、根元で大小2分岐する。

●幹周6m台は16本あり、その内4本が単幹樹とされているので調査すると、「天神ザクラ」は根元分岐幹と判明。「相生桜」も分岐幹と判明。岡山県の幹周6.8mの桜は朽ちかけている。そして、残るいわき市の幹周6.3mのヤマザクラが所在不明であった。

2010年、いわき市に「新田のオオヤマザクラ」という巨木があるので取材すると、幹周6.47mの見事な単幹樹で、これは「天王桜」を抜いて、日本一のオオヤマザクラではないかと思われた。2012年の花の頃に再取材すると、何とオオヤマザクラではなく山桜であった。これが、所在不明のヤマザクラであり、日本一に押しも遜色ない立派なヤマザクラと結論づけられた。



りんとうじ こんごうざくら  
写真 Y-002 **輪王寺の金剛桜**

輪王寺三仏堂前に立つ名桜。樹種はヤマザクラであるが、突然変異で、花茎が3.8㍎と大輪で見事。花弁は円形で、長さ1.7㍎、花弁の縁が重なりあう。

明治10年頃に輪王寺の門跡謙厚大僧正が、同寺の別の場所に植えられていたこの桜を三仏堂の前に移植し、大僧正の諡号、金剛心院に因んで命名されたもの。樹齢は500年といわれている。





写真 Y-003 <sup>しょうげつじ おおざくら</sup> 松月寺の大桜

ヤマザクラ系の品種で、花径が4㍍以上あり、葉も大きく、開花とともに萼片が反卷する性質がある珍しい桜。もともと小松城にあった桜で、加賀藩三代藩主前田利常が隠居していた時に、松月寺の住職至岸和尚に与えたもの。



写真 Y-004 <sup>しょうがんじ</sup> 松岩寺の山桜

松岩寺は道路より登った高台にあり、前庭から道路沿いの急斜面に斜上して立つ。2mで2分岐し、分岐部から細い幹が水平に出て、10m近く伸び、参道石段の上空を覆うように伸びる。単幹ヤマザクラの巨木として貴重な一本だ。



写真 Y-005 <sup>よしたか おおざくら</sup> 吉高の大桜

地上1~1.5mで5分岐する株立ちの大桜。お腕を伏せたような樹形をしていて、花の頃は見事。須藤家の墓標として植えられた。

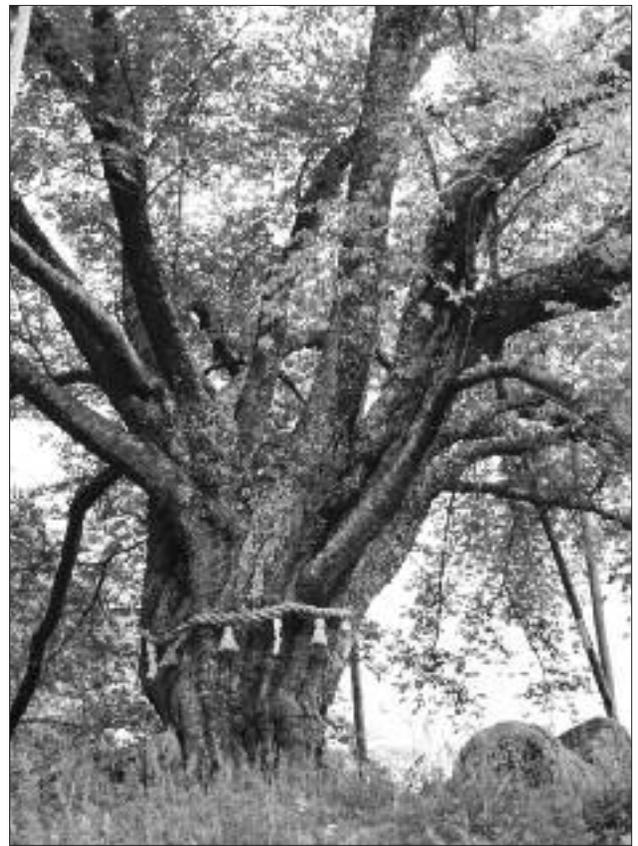


写真 Y-006 <sup>こしだい さくら</sup> 越代の桜

道路脇の小高い土盛りの上であり、周辺には巨石が散乱し、桜も二つの巨岩に挟まれた格好になっている。地上1mで太い幹が1本斜上し、主幹は地上3mで2分岐、樹勢は旺盛である。一帯は古殿町越代のサクラ公園として整備されている。



写真 Y-007 <sup>みはら</sup> 三原のヤマザクラ

集落の中央高台に位置する墓地に植えられた山桜の巨木。主幹の迫力が素晴らしい。



写真 Y-008 きたこうら よろくろうざくら  
北小浦の与六郎桜

佐渡の北端、北小浦から外海府海岸に抜ける市道を登ると、カーブ真上の山斜面に立つ。根元で何本かに分岐する樹形。



写真 Y-009 くろいわ やまざくら  
黒岩の山桜

古株は1.3mで2分岐するが、朽ちかけ、新幹が不定根を古株に沿って垂れ、かろうじて生きている状態。集落の南端にある。  
(写真・石田徹)



写真 Y-010  
てんじん  
天神ザクラ

内田のヤマザクラとも。根元近くで数分岐する。  
(写真・Web画像)



写真 Y-011  
さんのおぎざくら  
山王桜

(写真・Web画像)



写真 Y-012 いそがみ やまざくら  
磯上の山桜

磯上集落の一番奥にある八溝神社の鳥居の傍に立つ。主幹は振じれるように立ち上がり、地上5mで7~8本に分岐する。コブが多く、古木の風格がある。



写真 Y-013 こうごんじ やまざくら  
光厳寺の山桜

桜は本堂前から少し山の迫出した急斜面上部に立ち、最近寺との間にあった杉林を全て切倒したため、随分見晴らしがよかった。  
主幹はコブが多く、古木の風格があり、樹齢400年といわれる。



写真 Y-014  
こむらけ  
小室家のヤマザクラ

小室家の墓所にある墓守桜である。  
(写真・Web画像)



写真 Y-015 こうもんざくら  
黄門桜

水戸黄門が飯高寺へ訪れた事を記念して植えられた桜並木の内、現存する貴重な一本である。



写真 Y-016  
権現山のヤマザクラ  
(写真・Web 画像)



写真 Y-017  
浅井の一本桜  
花見客が多い一本桜として知られる。ライトアップされた桜が池に写る姿が目当て。(写真・Web 画像)



写真 Y-018 <sup>おおど さくら</sup> 大戸の桜(ひこばえ)  
品種はシロヤマザクラで、全盛期の大正時代は、幹周9.5mあったが、現在は枯死し、古株からひこばえが立上がっている。花は白色で直径3センチ程。(写真・Web 画像)



写真 Y-019  
小山のヤマザクラ  
(写真・Web 画像)



写真 Y-020 <sup>かなざわ さくら</sup> 金沢の桜  
畑の一角にある巨大なヤマザクラであったが、近年分岐幹が折れ、随分貧弱になった。



写真 Y-021 <sup>いつしんぎょう おおざくら</sup> 一心行の大桜  
阿蘇山と外輪山に挟まれた南郷谷の真中に立つ見事な一本桜。根元分岐であるが、花の頃の樹形は見事である。戦乱で戦死した城主の墓標とも言われる。



▲写真 Y-022  
<sup>こんびらじんじや</sup> 金刀比羅神社の神代桜  
(写真・Web 画像)



▽写真 Y-023  
<sup>しょうたくじ</sup> 松沢寺の山桜  
(写真・Web 画像)



写真 Y-024  
<sup>かりやど げぼざくら</sup> 初代・狩宿の下馬桜(版画)  
初代は幹周8m、樹高35mの山桜の巨木で、度重なる台風で損傷して破損した。現在は、根元より芽生えたひこばえがかなり成長している。花は大輪の一重咲きで、見事である。「下馬桜」は、源頼朝が狩りの折、この桜に愛馬を繋いだ事に由来する。

# 14-C オオヤマザクラ(大山桜)の巨木

バラ科サクラ属 *Prunus sargentii*

※北海道や東北北部では里山にもあるが、中部から四国では比較的標高の高い山地に生える。ヤマザクラより花の色が濃い。ヤマザクラの花柄は長く、分岐しているものがあるが、オオヤマザクラの花柄は短く分岐するものがないので区別できる。

巨木になるものは少なく、ほとんどが根元近くで分岐する。単幹樹の巨木は稀。よって、「七時雨山のオオヤマザクラ」や「松坂峠のオオヤマザクラ」は希有な存在である。巨木位置は「ヤマザクラの巨木位置図」に記載。

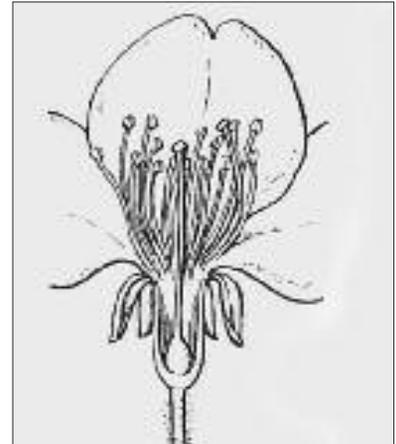
## ■サクラの花図解(「いしかわの樹木」より)



オオヤマザクラ(花柄は短く分岐しない)



ヤマザクラ(花柄は長く分岐する)



カスミザクラ(花柄に開出毛がある)

## ■オオヤマザクラの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 5.5m 以上の単幹樹、樹形、花付き良好なオオヤマザクラの巨木。
- B 幹周おおむね 4~5.5m の単幹樹、樹形、花付き良好なオオヤマザクラの巨木。
- C B 評価以下のオオヤマザクラの巨木。

評価 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

2015 年現在

評価	名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	七時雨山のオオヤマザクラ 写真 O-001	M5.69m(1.3m 2012)	15m	岩手県二戸市安代町田代平高原	なし
B	松坂峠の大桜 写真 O-002	6.2m(樹勢衰退)	17m	福島県南会津郡只見町布沢	なし
B	天王桜 写真 O-003	M4.6m(0.6m 2010)	12m	群馬県利根郡片品村	村
B	地藏久保のオオヤマザクラ 写真 O-004	株周 M5.3m(0.3m 2010)	16m	長野県上水内郡牟礼村地藏久保	村
C	分校のオオヤマザクラ 写真 O-005	M4.07m(1.3m 2010)	10m	石川県加賀市分校町	市
C	亀ヶ森牧場の一本桜 写真 O-006	3.5m	6m	岩手県宮古市亀ヶ森牧場	なし
C	山根のオオヤマザクラ 写真 O-007	不明	不明	岩手県久慈市山根字瑞神白樺平	なし
C	西藏王の大山桜 写真 O-008	根元分岐	不明	山形県山形市神尾西藏王	なし
C	国泰寺の老桜樹 写真 O-009	3.0m	10m	北海道厚岸郡厚岸町湾月町1丁目	町
C	龍泉寺のオオヤマザクラ 写真 O-010	3.9m	13m	福島県南会津郡只見町寺沢	なし



写真 O-001

日本一のオオヤマザクラ

ななしぐれやま  
七時雨山のオオヤマザクラ

これまで日本一とされてきたのは群馬県の「天王桜」で、巨木DB 幹周 5.33m。ところが、近年岩手県にある「七時雨山のオオヤマザクラ」が幹周 6.69m と報告され、脚光をあびた。2012年の花の頃に調査をすると、M5.69m で日本一になった。前記の報告値は上部接地面より 1.3m 地点を測定した数字で、この位置は幹が大きく広がった部分が入る。

オオヤマザクラは放牧場内にあり、共有地という。そのため、農道の車の立入りはできない。手前にある山荘前に車を止めて歩く事になる。

背後にラクダの背のような山並の七時雨山があり、広大な緑の放牧場等、オオヤマザクラのロケーションは申し分無い。地上 1.5m で4分岐、内一本は太い不定根を下し、複雑な成長過程を辿った事を物語っている。オオヤマザクラの花は、一瞬にして開いて散るので、満開に出会うのは至難。



▲七時雨山のオオヤマザクラ全景(満開時・2015.5.13 撮影)



写真 O-002

まつざかとうげ おおざくら  
松坂峠の大桜

近年確認されたオオヤマザクラの巨木であるが、衰弱が懸念される。布沢から松坂峠に向かう途中から山側に入った所に立つが判りにくい場所。もともとの主幹は枯れ、側幹から伸びる不定根に囲まれ、3m で4分岐する樹形。花付きは悪い。

幹周の数字は七時雨山のオオヤマザクラより大きいのが、衰弱し花付きが悪いため、日本一の座を譲った。(写真・Web 画像)

写真 O-003▶

てんのうざくら  
天王桜

巨木DB では日本一のオオヤマザクラになっているが、近年の調査でこれを上回るオオヤマザクラが二本出現した。2m で多数に分岐する樹形。花期には花祭りが行われている。

根元主幹が斜上するため、M 式では、幹の中心線に直角に測定する事になる。又、分岐幹樹形のため、根元付近がすぼまり、測定位置が低くなった。





写真 O-004

**地蔵久保のオオヤマザクラ**

地蔵久保のオオヤマザクラは、日清戦争の戦勝記念に植樹したと伝えられ、ここから1キロ程離れた市道に自生していた若木を、地元の人々が、大八車で苦勞して運び植えたという。



写真 O-005

**分校のオオヤマザクラ**

地元の墓所の中に植えられている。オオヤマザクラとヤマザクラの雑種といわれ、花色が白く、花柄も長いが、花柄は分岐しない。



写真 O-007

**山根のオオヤマザクラ**

放牧場内に立つ。  
(写真・Web 画像)



写真 O-016

**亀ヶ森牧場の一本桜**

牧場の見晴らしのよい高台に立つ見事な一本桜。  
(写真・Web 画像)



写真 O-008

**西藏王のオオヤマザクラ**

西藏王放牧場内に何本かあるオオヤマザクラの内、最大株。根元で分岐している。樹勢もよく花の頃は見事な色彩をして見事である。(写真・Web 画像)



◀写真 O-009

**国泰寺の老桜樹**

樹齡200年とも言われるオオヤマザクラの老樹。  
(写真・Web 画像)



写真 O-010▶

**龍泉寺のオオヤマザクラ**

(写真・Web 画像)